

平成二十四年度

九州歯科大学歯学部大学院入学式

歯学科第六十四回、

口腔保健学科第三回、

大学院第四十七回入学式

式辞

本日、九州歯科大学に希望に満ちあふれた新入生の皆さんを迎えることができ、この上もない喜びを感じております。歯学科六十四期生、口腔保健学科三期生、大学院歯学研究科四十七期生の皆さんには、大学の教職員を代表して、ようこそ九州歯科大学へという言葉をご贈らせていただきます。

また、これまでの成長を見守ってこられた保護者の皆さまもさぞかしお喜びのことと存じます。あわせてお祝いを申し上げます。

本日の入学式には、小川洋福岡県知事をはじめ、多数のご来賓のご臨席を賜り、厚く御礼申し上げます。

九州歯科大学は、全国に二十九校あります歯

科大学および歯学部の中で、唯一の公立大学として、古い歴史と伝統、ならびに輝かしい実績を持って、歯科医学および歯科医療の発展に大きく貢献してまいりました。平成二十六年に創立百周年を迎えますが、これからも公立大学法人という特色を活かした教育・研究・臨床活動を展開してまいります。

さて、公立大学法人九州歯科大学は、設置団体である福岡県から提示された中期目標を受けて、平成二十四年度から二十九年までの六年間、新たな中期計画のもとで、九州歯科大学のさらなる発展を目指して活動してまいります。新規中期計画では、その前文に、「口腔医学の総合大学」を謳い上げ、歯学科および口腔保健学科における教育の充実を中期計画の主軸に掲げています。本日、入学した両学科の学生諸君が、このような環境のもとで教育を受け、高い志をもった歯科医療人として社会に巣立つことができるよう教職員一丸となって取り組むことをお約束します。

昨今の少子化という社会構造の変化のなかで、高等教育の場である大学においても、教育

の在り方が問われていることはご承知の通りです。我が国の初等および中等教育の変化を受けて、各大学で、初年次教育の重要性を勘案したカリキュラム編成が行われています。

一般的に、初年次教育とは、大学新規入学者を対象に、大学での学問に必要なスキルや人間関係を確立するためのコミュニケーション能力を醸成しようとするものとされています。本学では、第二期中期計画において、初年次教育の充実を教育における重点項目として掲げて、大学での学問に必要な学習スタイルの確立、さらに歯科医療人にとって必須のコミュニケーション能力の醸成を重視した教育の充実に取り組んでいきます。

一方、医学および歯科医学教育の現場では、専門的職業人、すなわちプロフェッションの育成を重要視した教育編成が進められています。二〇〇二年に、米国および欧州の四つの医学系学会から「新ミレニアムにおける医のプロフェッショナルリズム」といった医師憲章が発表され、世界的なレベルで医師のプロフェッショナルリズムが語られるようになってきました。さらに、医療過誤に関する問題や過度の市場原理に基づいた医療制度、国民の医療への不信感などが

要因となっていて、医療人に対してプロフェッショナルリズムを求める声がより高まってきています。本学でも、先に述べた次期中期計画で、歯科医療人としてのプロフェッショナルリズムの涵養を掲げ、ヒューマニズムの精神を備えた歯科医療人の育成を目指し、時代に即した教育改編を継続していくつもりです。

さて、このようなお話しをしたうえで、本日、入学した新入生諸君にお願いです。諸君は、将来歯科医療人として、歯科医療を通して社会に貢献するという強い意志と高い志を持って、本学に入学したと思います。これから先、九州歯科大学における大学生活において、自らを律した、すなわち自律した大学生活を送り、プロフェッションとして社会に貢献するという強い意志を持ち続け、自分の日々の勉強に励んでいただきたいと思っています。

一方で、これからの大学生活は、友人・先輩・後輩といった人間関係を通して、人間的に成長していく大切な時期であると思います。ぜひ、楽しい大学生活を送り、豊かな人間性と的確な判断力といった人間力を身につけるために、さまざまなことにチャレンジして、皆さんが持つ

ている才能や個性に磨きをかけてください。

次に、大学院に入学する学生諸君にお願いします。どのような学問領域であっても、それを支えているのは研究です。今後、歯学研究科における大学院生として研究生活を送っていくなかで、歯科医学に貢献する研究者として、生命科学における高度の研究能力ならびにその基礎となる豊かな学識を養ってください。

平成二十一年度に、九州歯科大学は、九州工業大学と歯学と工学を融合した大学院教育をスタートしました。ここでは、歯学のニーズに工学が応え、工学のシーズを歯学に取り入れるといった形の共同研究を重層的に展開しています。このような単科大学間における歯学と工学の大学院連携は日本で初めてのことです。昨年度から、経済産業省の研究プロジェクトで、歯周病診断機器の開発を通じて、新たな産業の創生につながる応用研究を開始し、現在、社会の注目を集めています。大学としては、この歯工学連携を深め、より充実した研究環境の整備に努め、二十一世紀の歯科医学を背負う大学院生諸君の研究が、これまで以上に幅広いものとなるよう、支援していくつもりです。諸君には、

国内外を問わず、歯科医学および歯科医療界の  
フロンランナーとして、活躍していただくこ  
とを切に願っています。

本学の歯学部および大学院に入学された皆  
さんは、今日から長い歴史を持つ九州歯科大  
学の一員として、研鑽を重ね、次世代に向け  
て新たな伝統を作っていくことになりま  
す。その道は決して平坦なものばかりでは  
ありません。そのことを自覚したうえで、  
輝かしい未来が皆さんを待っているとい  
うことを信じて、充実した学生生活を送  
られますことを心から願っています。

むすびに、入学生全員に、「艱難汝を玉にす」  
Adversity makes a man wise という故事を贈  
り、「艱難を自らに課し続ける人間のみが、不  
断の人的成長を遂げる」という土光敏夫氏  
の言葉を紹介し、明日からの学習、研究に  
取り組まれることを心から念願しまして、  
私の式辞といたします。

平成二十四年四月三日

九州歯科大学

学長 西原 達次